
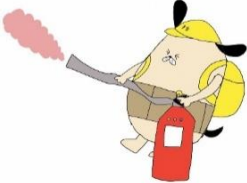


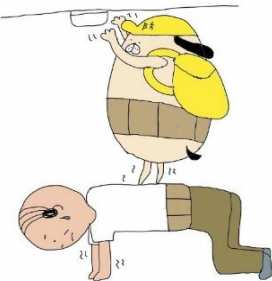



	モチーフ	概要
<p>たまご犬の たまごろう</p> 	<p>『身近で親しみがわく動物である犬』と『熱や割れに弱いたまご』をモチーフとし、昭和消防署キャラクターなので『昭和』の時代を連想させる腹巻を着用した。なお、たまごの形『0(ゼロ)』には火災・災害時の死者『0』を目指す意味がある。また、防災に対する意識が高いジィジョーがお手本であり、腹巻にはお揃いの懐中電灯・ペットボトル等を挿し、ヘルメットとリュックはジィジョーの防災ずきんと同色である。</p> 	<p>たまご犬という犬種の子犬。川名公園で防火・防災訓練をしていたところ、偶然風揚げに来ていた防災夫婦と意気投合し、そのまま夫婦の家に居候することに。防災夫婦から貰った腹巻やリュックの中には住宅用火災警報器・ハンマー・備蓄品等が入っており、被っているヘルメットには『防』の文字が入っている。また、たまごであるため、家具の下敷きになって割れることや、炎に焼かれることを非常に恐れており、家具の固定や住宅用火災警報器の普及啓発に防災夫婦と日夜努めている。驚いたときに『おったまげっちゅ！』と言うのが口癖。</p> 
<p>防災夫婦</p> 	<p>『昭和』の時代によく見かけた夫婦で、偶然出会ったたまごろうを居候させている。夫の着用している服には『防』、妻の着用している服には『災』のロゴが入っており、防火・防災対策に熱心に取り組んでいる。</p> 	<p>夫は生真面目な中高年の男性、妻はおおらかでふわふわなパーマが特徴の女性でカラフルなスパッツをよく穿いている。共通点として外出する際はリュックを背負い、ホイッスルを首からかけている。そして二人ともうっかりものである。近所では『防災夫婦』として有名。火災・災害予防の啓発に懸命に取り組むたまごろうをととても可愛がっている。</p>
<p>たまご犬の ゆでぎぶろう</p> 	<p>通称『ゆでくん』。物語が盛り上がるために必要な憎めないキャラクターとして紙芝居の二作目から登場。火災・災害予防に無関心で、その啓発をする友だちのたまごろうに何かと文句をつけるが、自分の家が火事になった経験を通じて防火・防災の意識を高めることになった。</p>	<p>怒りっぽい性格で口癖は『ぶんぶん！』『ゆでゆでワクワク』。すぐに茹で上がる。たまごろうが生卵なのに対して、ゆでぎぶろうはゆで卵。お金持ちでいつも威張っており、鶴舞公園にある大きな家に住んでいる。たまごろうと仲良くしたいが、せっかちなのと自慢したがりでつい意地悪な言動をとってしまう。自分のことを『ワガハイ』と言う。</p> 